

本日のプログラム

卓話

曾根 会員

昭和19年生まれの今年56歳になります。家族は夫婦と子供3人（一男二女）と父親の6人ですが、子3人は外へ出ており実質3人です。中筋2丁目の願正寺の住職をしており、宗派は浄土真宗本願寺派（西本願寺）となっております。



伊保小学校を卒業し、天川中学校（すでに廃校）へ越境入学。高校、大学を経て京都で3年間を過ごし、昭和45（1970）年に高砂市役所へ。

市役所で23年間余り勤めていたうちの大半を福祉関係（福祉事務所）の仕事に従事し、生活保護、老人福祉、障害者福祉等を担当する。当時の仕事の中心はまだ「貧困者の救済」であったように思いますが、高度経済成長時代に入り、国、自治体も歳入は毎年増え続け、昭和50年代に入り「福祉元年」という言葉までいわれ、いろいろな福祉制度が生まれました。

平成5（1993）年市役所を辞め現職。

願正寺のことを少々。

天正の戦（三木城落城）の後、出城跡に一族の菩提所としたのが始まりで、今から400年余り前。高砂市内の寺としても比較的新しい方である。私で13代目。

私はまだ青松ロータリークラブに入会させていただいて4ヶ月足らずのものです。名実とも皆様の仲間となれますよう、よろしくお願いいたします。

高砂青松

The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan

Rotary Club



意識を喚起し 進んで行動を
 “CREATE AWARENESS, TAKE ACTION”

2000～2001年度国際ロータリーのテーマ



例会記録 (2000. 10. 25 (水)) 通算 1090 回

ソング

「我等の生業」「歓迎歌」

来訪ロータリー
 ン報告(田中浩)

- 名 島 一 成 様 (高砂R.C.)
- 松 田 怜 様 (高砂R.C.)
- 萬 山 忠 彦 様 (高砂R.C.)
- 覚 野 成 広 様 (高砂R.C.)

出席報告
 (内橋)

10月11日 会員数60名 欠席者 0名 出席率 100% <修正による>
 10月18日 会員数60名 欠席者 22名 出席率 63.33%

委員会報告

○ 選考委員会 (西田委員長)
 次々年度の会長選考について打合せを行います。

ニコニコ報告

増 田 耕太郎・吉 田 一 富
 …… 所用のため早退致します。

プログラム予定

10月25日(水)	11月1日(水)	11月8日(水)	11月15日(水)
卓話 曾根 会員	卓話 伊藤 会員	「R財団委員会担当例会」 大森千里 会員	卓話 タイレポート 大森明夫 会員

会長 唐津 巳喜夫 幹事 内海 薫 クラブ会報委員長 都倉 達 殊
 例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室(2F)

事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話 (0794) 43-0500(代)

1. 2001～2002年度国際ロータリー第2680地区
ガバナーエレクト事務所開設の案内が来ています。
所在地 〒650-0012 神戸市中央区波止場町2-1
ホテルオークラ神戸706号室
電話 078-332-2680
FAX 078-334-2681
執務時間 10:00～17:00 (日・祝日は休み)
2. ガバナーエレクト事務所から
2001～2002年度ガバナー補佐(予定者)の推薦依頼が来ております。
3. ザ・ロータリアン誌とロータリーの友英語版が届いています。回覧します。ご入用の方はお持ち下さい。
4. 加古川平成R.C.から
1999～2000年度の会報と週報が届いています。回覧します。
5. 高砂の松ライオンズクラブから
会報まごころ(第9号)が届いています。回覧いたします。
6. 明石R.C.から創立50周年記念例会並びに祝賀会出席のお礼状が届いています。
7. 神戸中R.C.から「震災5周年チャリティーコンサート」協賛に対するお礼状が届いています。
8. 兵庫県フロン回収・処理推進協議会から広報誌トライアングル23号が届いています。回覧します。
9. 例会変更
姫路R.C.
11/7(火) → 職場例会のため 12:30～13:30
於:兵庫県脳機能研究センター
姫路中央R.C.
11/23(木) → 祝日のため休会
三宅島災害義援金ボックス再度回します。

R.I.ではかねてよりDLP(地区リーダーシッププラン)を推奨しており、すでに地区ガバナーの仕事の一部を分区代理に分担させる等の事を実施しておりますが、次年度は更に一歩進めて「ガバナー補佐」の制度を設けようとしており、次年度のガバナーからガバナー補佐の推薦依頼が来ております。その依頼書の全文を下記に記し、御参考に供します。

平成12年10月17日

国際ロータリー第2680地区
クラブ会長 各位

国際ロータリー第2680地区
ガバナーエレクト 赤木 文生

ガバナー補佐(予定者)推薦依頼の件

拝啓 秋も深まって参りましたがますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は種々ご奉仕を賜り感謝致しております。

さて、すでにご承知のように、R Iは世界中の地区に対し2002年6月までに地区リーダーシップ・プランを採用するように推奨しており、採用しない地区に対してはR Iの設定したプランを実行するように求めています。

私は、R Iの設定したプランは地区の実状を考慮しない画一的なプランだと予想しますので、次年度には当地区独自の地区リーダーシップ・プランを実施するべく検討中ですが、このプランの中心課題は「ガバナー補佐」制度を設けることであります。従来、当地区ではガバナーとクラブの連携を保ち、クラブの発展に寄与した制度としては分区代理の制度があり、分区代理の方々は現在も十分にその効果を発揮しておりますが、R Iはこの役割をガバナー補佐に交代させようとしております。R Iは近時目立ってきたロータリー会員の減少を憂い、会員の増強と退会防止についてガバナーにより以上の責務を課し、ガバナーにその責務を全うさせるため、ガバナー補佐を選任するように推奨しています。

私は、分区代理の制度でも会員の増強と退会防止に役立っていると信じていますが、次年度に地区リーダーシップ・プランを実施するには、ガバナー補佐の選任が不可欠であります。それには、各クラブの所属している分区内においてガバナー補佐にふさわしい会員を選び、ご推薦頂くのが最適であります。

ガバナー補佐の役割につきましては「手続要覧」1998年版の34頁に記載されておりますので、詳しくはこれを参照いただきたいのですが、分区代理の役割をより強化したものとご考え下さい。ガバナー補佐の選任はガバナーエレクトの責任になっていますが、各分区における適任者については当該分区のクラブ会長をおいて他にはありません。

失礼を顧みず突然で申し訳ありませんが、ご協力の程お願い申し上げます。すでに、候補者の方がおられましたらその方をご推薦下さい。

できれば、11月15日までに推薦書式をFAXにてご返送くださいますようお願い申し上げます。